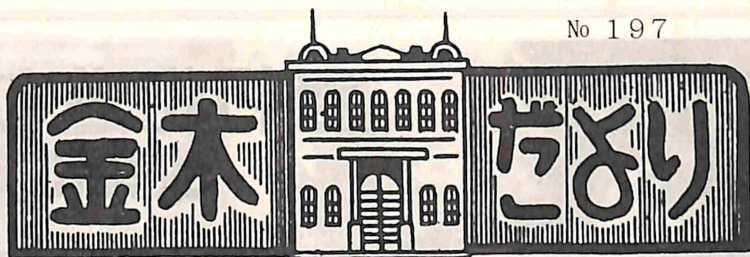




昭和57年

9月号

No 197



発行 金木町役場 編集 企画室

# 収穫の秋

## 平年作にひと安心



いよいよ収穫の秋、二年  
 続きの冷災害から脱し、今  
 年こそは豊作を、と希った  
 農家の努力が稔る秋。  
 しかし、ことしも地域に  
 よっては不稔障害がみられ  
 た。ただ、不稔も九月一日  
 調査時点で十七%とみたの  
 が同月十四日調べでは十一  
 %に減っているため、平年  
 作にはなるだろう。

適期刈り取り（当地域は  
 十月五日ごろ）により良質  
 米をつくるのが農業所得増  
 への道だ。

# 老朽化進む金木中学校 改築に向けてスタート

## 建設促進協議会発足



金木中学校は創立三十五年、木造のため校舎の老朽化がここ数年で急激に進み、生徒や父兄らから改築が待たれているところですが、さる八月二十四日、金木中学校建設促進協議会の組織会が開かれ、改築に向けて実質的なスタートを切りました。

現在の校舎は昭和二十二年新築後、生徒数の増加等に伴って数回の増築を重ねてきましたが、校舎面積は

屋内体育館を含め四千二百三十六平方メートルで基準より六百四十四平方メートル狭く、かつ老朽化は年々進み、昨年五月に県で耐久度を調査したところ老朽校舎に該当し、改築には国庫補助金が適用されることがわかったものです。

この調査結果を重視した同校PTAでは昨年九月、「老朽校舎と運動施設の改築」を町議会に陳情。議会で教育民生常任委員会に付託。同委員会では町教育委員会等とモデル校舎視察や合同会議を開くなどして現在も継続的に審議してい

ます。  
このような情勢から町では、金木中改築には学区民の意見を反映するため調査・研究を―と建設促進協議会を設立したものです。

協議会のメンバーは学区内の町議会議員、学校長、PTA会長ら三十三名で構成され、組織会では会長に伊藤久雄さん、副会長に泉谷征太郎さん、吉田登志一さんを選任。各委員から建設促進に向けた活発な意見が出され、早期建設に向けその前提である用地の選定に極力努力することを確認しました。

### 健全育成は地域ぐるみで

### 北郡PTAが研修会

健全育成推進は地域ぐるみで―とさる九月四日、町中央公民館に郡内六町村からPTA役員や来賓など関係者約三百四十人が出席。五十七年度北郡PTA研修会が開かれました。

この研修会は、青少年の健全育成推進を図るためには、PTAの地域活動の振

興を―と北郡連合PTA（鳴海等会長・嘉瀬）が主催、毎年開かれているものです。開会式では、鳴海会長が「会員相互が手を取り合っ

て青少年の健全育成に取り組もう」とあいさつした後、功労のあった団体、個人の表彰があり、来賓らが祝辞をのべました。引き続き

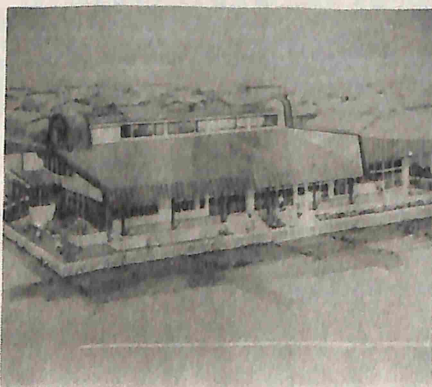
き、三分科会に分かれ、それぞれ「地域ぐるみで子育てをすすめるよう」、「青少年の健全育成と家庭の役割」、「青少年の健全育成とPTAの地域活動」をテーマに

司会者を囲んで討議。サブテーマごとにグループをつくって問題を出し合い、全体討議に諮る形式で、活発な意見が相次いでいました。この後、全体会議で各分科会の報告が行われた後、初の試みとしてシンポジウムも行われました。テーマは「青少年の健全育成と学校教育とのかわり」で、非行防止やPTAと教師の連携について要望や質問が出されていました。

### 第四保育所が着工 12月末には完成

さる八月二十六日、第四保育所の地鎮祭が喜良市生活改善センター東側の建設予定地で行われ、関係者が工事の安全を祈願しました。同保育所は鉄骨ブロック

造り平屋建て、面積四百三十三平方メートルで保育室、乳児室及び廊下には床暖房が施されるなど子供たちの安全を考慮した設計となっています。完成予定は



完成予想図

# 地域づくりに貢献 20年

## 連合婦人会が記念式典

明るい地域づくりと婦人の社会的地位向上をめざして二十年。金木町連合婦人会（相馬京子会長）の創立二十周年記念式典がさる九月十七日、町中央公民館で開かれ、会員約二百四十人が参加、地域の福祉と平和への貢献を誓い合いました。

同婦人会は昭和三十七年八月、町内七地区の婦人会が一体となって結成され、以来、夏祭り行事の流し踊りに参加、祭りを盛りあげ、昭和五十一年から始まった町の文化祭では食堂を開設して町民から好評を博し、また、清掃奉仕や国民年金保険料納付組織として

町行政に協力し地域づくりに貢献する一方、婦人学級などを開催して、会員相互の資質向上をめざし活動を展開。着実に躍進を続けています。式典では、相馬会長が「母なる大地の信念に徹し、地域づくりにお互いの手と手と合って進みましょう」と

とあいさつした後、歴代会長、歴代地区会長に表彰状と記念品が手渡されました。続いて来賓の祝辞があり、受賞者を代表して今きぬさん（喜良市）が「今後も婦人会活動の発展に尽力します」と謝辞をのべました。午後からは祝宴に入り、中教育長の首頭で乾杯をした後、各地区の有志が自慢の歌や踊りなどを披露し、二十年の苦勞を忘れて、なごやかなひとときをすごしていました。

岐政幸くんが仲間に入れてもらえない「つちや」を朗読。母の実家のじつちやが年寄りだからと家族の団らんに入れてもみえず仲間はずれにされている様子を訴える感動的な作文に、会場には、思わずハンカチで目を押さえる光景が見られました。引き続き来賓の祝辞があり、受賞者を代表して佐野洪さん（嘉瀬）が謝辞をのべました。

午後からは昼食を狭んでアトラクションに入り、各老人クラブの有志が自慢の歌や踊りを次々と披露。舞台と会場が一体となって楽しいひとときを過ごしました。



アトラクションを楽しむお年寄り



## 知識と経験 役立てよう

### 第14回老人福祉大会

社会に生かそう知識と経験などをスローガンにさる九月十四日、町中央公民館で第十四回金木町老人福祉大会が開かれました。

です。

大会では花田社協会長のあいさつ、町長（代理）の激励のこたばに次いで、九十歳以上の長寿者十三人、八十五歳に達した長寿者二十三人、八十歳に達した長寿者夫婦三組に顕彰状と記念品が手渡されました。

続いて作文発表が行われ、応募作品の中から優秀賞を受賞した嘉瀬小六年の土



作文を発表する 土岐政幸くん

謝辞をのべる 佐野洪さん

90歳とは思えないほど元気です



催で毎年開かれているもの

を

# みんなの広場



「みんなの広場」はあなたが  
つくるページです。話題など  
ありましたら企画室まで  
ご連絡下さい。  
いつでも取材に伺います。

よい子の  
作品



トラクター  
喜良市小4年 横山 栄子



ジャングルジム  
第二保育所 なら・きりひと



ひまわり  
川倉小二年  
あさり よしひと



ロケットコンビネーション  
金木小3年 野宮 朋子

## ぼくのかお

嘉瀬小二年  
はらた・だい

かがみでかおを見た。  
ぼくのかおはまるがただ。  
おこったかおをすると、は  
なの上にしまみたいのがで  
きた。  
目はどこでもよく見える。  
まゆ毛は上にいたり、下  
にきたりでおもしろい。  
耳を見たらめいろみたい。  
ほったつたをつねったら、口  
がほそくなった。  
手でたいたいたら、口がぶる  
んとふるえた。



開会式で審判長の注意を聞く豆選手たち

## 野球・ソフト・相撲 三種目に熱戦展開 第六回町内少年体育大会

会長が主催、毎年開いているものです。この日参加したのは、町内各小学校から児童約百五十人。暑さにもめげず詰めかけた父兄らの声援を受けながら野球、ソフトボール、相撲の三種に熱戦を展開しました。その他の結果は次のとおりです。

- 晴天に恵まれたさる八月十六日、第六回町内少年体育大会が喜良市小グラウンドで開かれ、熱戦を展開、嘉瀬小が総合優勝を果しました。
- ①金木小 ②喜良市小 ③嘉瀬小、川倉小
  - ソフトボール
  - ①川倉小 ②嘉瀬小 ③喜良市小、金木小
  - 相撲
  - ①嘉瀬小 ②金木小 ③川倉小

## 150人が 大物に挑戦 藤枝溜池で鯉捕り大会

肌寒さを感じさせる天候でしたが参加者たちは大きな網を手に早朝からぞくぞくと集合。合図のサイレンの音とともに一斉に溜池に入り、腰まで泥につかって思うように動きがとれないながらも、大物



さる九月五日、藤枝溜池で鯉捕り大会が行われ、町内外から約百五十人が参加、大物に挑戦していました。この大会は、藤枝内水面漁業組合が主催、三年毎に行われているものです。

この日は、捕りに悪戦苦闘する光景があちこちで見られました。一方、溜池のまわりには大物を捕える瞬間を一目見ようと、約二百人の観衆が立ち並び一匹捕えるたびに歓声をあげ、一緒に楽しんでいました。

# 仲間と ともに

さる八月二十九日、芦野公園にある自然休養村管理センターに県内の俳句愛好者約九十名が参加、金木俳句大会が開かれましたが、この大会を主催したのが今回紹介する金木俳句会砧吟社（平井機炎会長）です。

戦時中で物資の乏しい昭和十八年頃、当時の嘉瀬村に住む青年有志が沢田一歩さんを代表に俳句雑誌「鳴子」を出版、県内から脚光を浴びたのが会発足の発端であるという。

戦中、戦後の混乱のなか一時的に活動は停滞したものの昭和二十五年九月には「鬼灯（ほおずき）」を出版、さらに翌二十六年からは郷土青年俳句雑誌として「砧（きめた）」を出版、当時としては本格的な俳句雑誌として注目を浴び三十年頃まで続いたという。その後は社会情勢の変遷などにより会の活動は停滞を続けたが、昭和四十年金木南中学校初代校長として着任

## 自然の美しさを歌う会員15人 金木俳句会砧吟社



した小山内末美先生の呼びかけにより嘉瀬地区のみならず町内全域から会員が集まり、名称も金木俳句会砧吟社となり雑誌を再刊しました。

例会は毎月一回、町中央公民館で各自が句を持ちよって採点、批評、会員相互の熟達を図っています。

この成果は今春青森市で開催された県俳句懇話会主催の春季俳句大会で現われました。元会長の沢田一歩さん（嘉瀬農協勤務が県内から集った俳句愛好者百二

十人の中から総合で一位を獲得したのです。その時の俳句を一句ご紹介します。

辛夷咲き天一枚の

はり  
玻璃となる

俳句とは―に、沢田さんは「季節の感情を込め、自然の美しさを歌う」と即座に返答、好きでやめられない理由でもあると話していました。

第十二回金木俳句大会での作品を紹介します。

松毬は孤独の丸み  
炎天に農婦働く  
秋の影 沢田 一歩  
尻向けて 小野 青炎  
呼吸づかい 伊藤 白泉

一句未己の脛に  
蟻登る 平井 機炎  
碑の文字黒々と  
秋近し 坂田 雑人

夏惜しむ浮洲を占むえる  
鳥の黒 須崎まさとし

貸しボートのけぞる園の  
秋めきて 田村 千子  
鎖樋に連なる秋意  
資料館 長内 艸骨

## 歌や踊りに大喜び 喜良市子供会が あしの園慰問

恵まれないお年寄りの一日孫に―と敬老の日の十五日、喜良市地区子供会連合会（桜庭一会長）が川倉にある特別養護老人ホーム「あしの園」のお年寄りを慰問。歌や踊りなどを披露して喜ばれました。

この慰問は今年で四年目。同子供会の年中行事として毎年行っているものです。この日は、世話人の今トシさん、古川明美さんらと共に自転車で訪問。同園ではちょうど八月生まれのお年寄りの誕生会の最中。子

供達がハッピーバースデーの歌で誕生日を迎えたお年寄り一人一人に手づくりのレイを贈り祝福した後、祝福した後、奴踊り、ゲームそれに歌などを披露。お年寄りたちは大喜びでした。

この後、体の不自由なお年寄りの歩行の手助けや車



お年寄りを手づくりのレイで祝福する会員

イヌを押しながら部屋まで送り、なごやかな一日を過ごし、再会を誓い合っていました。

秋の音われ老残の  
水櫛で髪捌かるる  
夕薄暑 斉藤 竹灯  
夕涼し海女ひたひたと  
海離る 原田 季岳  
みなさんも仲間に入って  
一句いかがですか。

# 足腰の強い

## 農業めざして

### 北五地区農業委員大会



足腰の強い農業をめざし、農業構造改善などを図るた  
意欲の持てる農政確立を進  
めよう」とさる九月一日、  
町中央公民館に北五地区  
の農業委員約五百十人が出  
席して第二回北五地区農業  
委員大会が開かれました。

この大会は、冷害などに  
よって窮迫している農家経  
営の立て直しや、低迷する

農業構造改善などを図るた  
め、五所川原市と北郡六町  
村で組織している北五地区  
農業委員協議会(成田長之  
助会長・市浦村)が主催、  
昨年から開かれているもの  
です。

武田会長のあいさつの後  
来賓の祝辞などがあり、引  
き続き町農業委員長榎引  
政雄さんを議  
長に議事に入  
り、中谷肇さ  
ん(川倉)、  
今根義さん(五所川原市)  
の二人がそれ  
ぞれ「農地三  
法の推進と中  
核農家の育成  
」、「農村予算  
の確保と農政  
発展」と題し  
て意見発表を  
行いました。  
この後、意見

発表を基に活発な討議が行  
われ①農地三法の実施推進  
②農産物輸入自由化、枠拡  
大阻止③意欲の持てる農政  
確立などを盛り込んだ大会  
宣言を採択、農家の利益代  
表として団結を誓い合いま  
した。

また席上、永年勤続者と  
して当町から次の方が表彰  
されました。  
吉田米五郎(蒔田) 秋谷  
正義(喜良市) 木下俊蔵、  
伊藤一穂、鳴海彦一(以上  
嘉瀬)

## 200人が安全祈願

### 出稼者安全就労大会

さる八月十八日、町中央  
公民館で出稼者安全就労  
大会が開かれ、出稼者や家  
族約二百人が参加、安全を  
祈願しました。

この大会は、出稼中の安  
全を祈願すると共に、就労  
経路の正常化などを促進  
するため、出稼者が帰省  
する八月に毎年開いてい  
るものです。

大会の冒頭の安全祈願  
祭では、来賓らと共に  
出稼者を代表して伊藤武  
男さん(神明町、町出稼  
就労者組合副組合長)が  
玉申しを奉典。安全を祈  
願した後、全員が出稼者  
物故者に黙とうしました。

その後、来賓らの祝辞



安全を祈る出稼者ら

## いろいろな投票

投票には自書式投票と記  
号式投票があります。

自書式投票は、選挙人自  
身が候補者一人の氏名を記  
載する方法です。

これに対し記号式投票は、  
あらかじめ投票用紙に候  
補者の氏名が印刷されてお  
り、これに○の記号を押す  
方法です。金木町における  
投票では、知事選挙がこの  
方法で行なわれています。

これとは別に、点字投票、  
代理投票、不在者投票、仮  
投票がありますが、この  
中には皆さんも利用したこ  
とのある投票もあるかと思  
います。

点字投票は、目の不自由  
な人が点字を用いて投票す  
るものです。

当町では、この方法を利用  
する人がほとんどありません  
でしたが、是非利用し  
て自らの権利を行使して  
もらいたいものです。

代理投票は、いわゆる代

筆投票のことで、身体  
障者や文盲の人に代  
理者が投票用紙に記載する  
方法です。これまでの選挙  
でも、利用者がかなりあ  
った投票です。

不在者投票については、  
次号で詳しく述べたいと思  
っています。

仮投票は、前記までの投  
票とはいくらか趣きが違  
います。

たとえば、選挙人名簿の  
誤載等により選挙権を有し  
ていないと考えられる者や、  
選挙人が本人であるか確  
認できないとき、また、代  
理投票の請求者で身体障  
障等が認められないため、  
投票管理者が投票を拒否し  
たことに不服がある場合に  
行なわれます。

したがって、これらの仮  
投票は開票所に送られ、開  
票管理者によって受理され  
るか否かが決定されます。

# 今年こそよい米を!!

## 適期刈取り・もみすり調整 1等米80%を目標に

二年続きの冷災害は農家経済に大きな影響を与えており、今年こそは豊作を、と切なる願いをこめて稲作管理を行ってきた筈です。

いよいよ収穫の時期となりました。先般の巡回農業相談でも金木地区農業改良普及所から説明、指導がありました。刈取時期、脱

穀調製が大事になります。

ことしこそ適期刈取り、適正なもみすり調整によって一等米の米を売渡し農業所得を高めたいものです。

これからの農作業は、県農業指導課から出されている今後の重点指導事項を参考にして進めましょう。

### 刈取り時期

① 登熟は地域、品種、被害の程度によって異なるが、刈取適期は全体の収量の九十%が黄化した時点が基準となる。(特に刈り遅れないよう注意する。)

② 刈取り作業の能率を高めるため、排水の便につとめ、作業は計画的に進める。

排水の悪い水田では排水口を二、三ヶ所に設置



するほか、排水溝をつくるなど刈取りに備える。

③ バインダー刈りは自然乾燥作業の労力に合せた適正な組作業人員または刈取り面積とし、刈取り後、直ちに乾燥する。

④ 自脱コンバインは、回転数や刈取速度を調整し、脱稈米でないようにする。

### 乾燥資材

および

### 収穫機械の整備

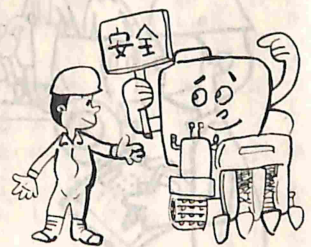
① 稲掛棒や架掛けの資材などは刈取り面積に応じた不足分を補充する。

② バインダーやコンバイン、乾燥機は使用前後に整備点検を行ない調整しておく。

### 乾燥

玄米水分 15%に

① 自然乾燥は期間が長くと胴割米や着色粒などが発生し、品質が低下するので棒掛け乾燥は晴天日に掛替えを行うなどして籾水分十四・五〜十五%を目標(玄米水分十五・五%目標)とする。



② 自然乾燥で仕上げ乾燥を行う場合は、籾水分十八%位になったら機械乾燥に切り替える。

③ 機械で乾燥する場合は急激な乾燥はさけ、一時間当たり〇・八%以下にし、循環型乾燥機はタンク満杯で使用するようにする。

### 脱穀

① 脱穀機の回転は速くなると脱稈米や胴割米が多くなるので適正な回転数(五百〜六百回転)で行う。

② 褐変籾、穂もち、青立籾や過乾燥など被害粒の多いものは別に分けて脱穀し、売渡し米としな

### 売渡し米

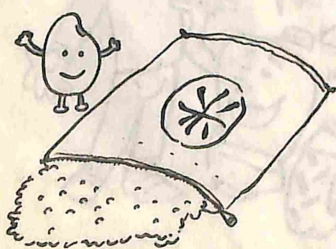
### の出荷

① 乾燥調製の早期化をはかり、計画的な早期出荷につとめる。  
② 一等米生産の確保と売れる青森米の評価を落さないようにつとめる。

### 籾攪調整

整粒歩合 75%以上

① 乾燥機で乾燥した籾は十分放冷(籾温度十五〜二十度C)してから籾摺機にかける。籾摺作業は



万石やゴムロールの調整に注意し、肌ずれ米や碎米のでないようにする。  
② 回転型米選機の流量は篩一本当り一時間前に九百〜千キログラムを基準とし、作業中目詰りに注意する。  
③ 縦線型米選機を使用する場合、流量は線面中(十センチ幅当り)一時間に二百五十〜三百キログラム(傾斜角度三十五度)とし選別精度を高める。

# 秋季農作業安全運動実施中

9月20日  
～10月31日

## 農業機械の安全利用に 気をつけましょう!



収穫の秋となり本格的な秋の農作業シーズンに入ってきました。高性能農業機械の普及により農作業の省力化に著るしい効果をあげていますが、反面、農業機械による事故も毎年多発しています。

しかし、事故の大半はちよつとした不注意や日頃の点検整備の不備からおきており、未然に防止できるものが多いのです。

次の重点事項を守り、農業機械の安全利用に十分気をつけて下さい。

### 機械を使う 場合の注意

- ① 転倒、転落を防止するため、ほ場環境に応じた作業を行い、絶対無理をしないとともに、できるだけ機械の走行路等の危険箇所を熟知しておき、必要に応じて改善しておく。
- ② 機械の特性を十分把握し、運転操作の習熟に努める。
- ③ 日常の点検整備を励行する。
- ④ 機械の点検や調整時及

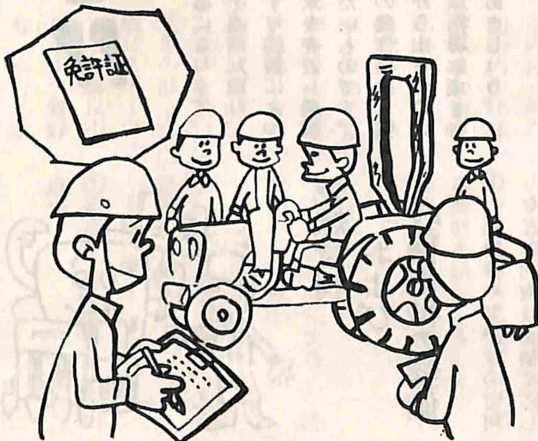
- ⑤ 必ずエンジン止めるときは、必ずエンジンを止める。
- ⑥ 服装を整える。
- ⑦ 無免許、酒酔い、体調不良者の運転はやめる。

### コンバイン

### 脱穀機

- ① 作業中粗やわらを詰まらせないよう注意する。
- ② 詰まりをとり除くときは必ずエンジンを止める。
- ③ ほ場の出入り、畦畔越え時の転倒事故に注意する。
- ④ 安全防護カバーは必ず

### 身につける 農機の操作が身を守る



### 忘れまい心の注意と 機械の注油

とりつけておく。

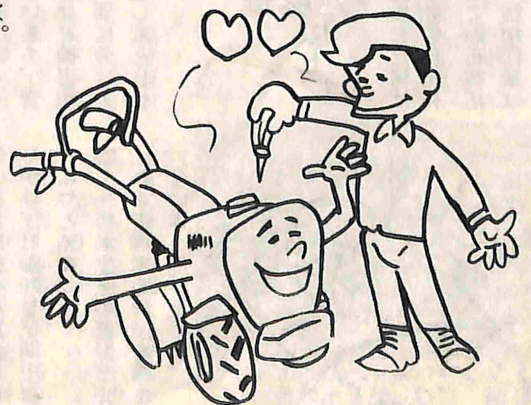
### トラクター

### 耕運機

- ① 収穫物の運搬等で道路を走行する場合は、方向指示器や反射鏡等が正常に作用するようにしておくとともに、他の交通に十分注意する。
- ② 傾斜地でのほ場や農道を走行する場合は転倒転落事故に注意する。
- ③ 乗用トラクターでは転倒、転落による死亡事故を防止するため、安全フレームを装備する。

### 乾燥機

- ① 燃料もれや不完全燃焼がないように整備しておく。
  - ② 乾燥機の周囲には燃えやすいわら屑、紙屑をおかない。
  - ③ 機械運転中は、時々安全確認を行う。
  - ④ 乾燥舎には消火器を備えておく。
- 自脱コンバインは、トラクターやスピードスプレヤーに比べ年間使用日数も少ないが、事故の発生率が高いので十分注意しましょう。





# 交通事故から守ってね!

嘉瀬小学校1年のみなさん



## 母と子の会話



何でも言える親子の間柄が望ましいと言っても、友人並みに、とはいかないようです。親子の会話では、どうしても命令や禁止の言葉が多くなりがちです。「しつけ」に目がいつてしまからでしょう。

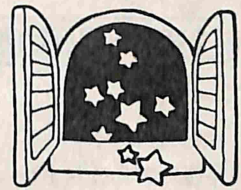
「手を洗いなさい」「そんなことをしてはいけません」親にしてみれば当り前のことを言っただけに、「お母さんは口を開くと文

句ばかりだ」「お父さんと話すと怒られているようで嫌だ」などと、親に何も言わなくなる子供もいます。子供は、特に反抗期などには押し付けられるような

## 命令や禁止

言葉、命令や禁止の言葉を嫌うようになります。これを自主性の現れと考え、「子供がのしたいようにさせる」いわゆる放任型の立場を取る人もいますが、アドバイ

## 戸籍の窓



おめでとう

八月

田中 裕治(敏彦) 蒔田  
木下 貴文(悟) 嘉瀬  
安田 舞乃(実) 金木  
長谷川夕希子(清久)

今 昭人(金明) 喜良市  
伊丸岡優希(晃) 〃  
須崎 靖子(正輝) 嘉瀬  
今 美紀子(忠栄) 喜良市  
岩田 夏紀(信家) 〃  
木田 竜(久) 〃  
西村 隆史(秀一) 喜良市  
今 佑太(裕嗣) 〃  
神成 哲矢(亮逸) 金木  
澤田 瞳(正治) 嘉瀬  
白川 裕美(了) 金木  
澤田 和希(國明) 嘉瀬  
白川 愛子(孝治) 蒔田  
山口 仁美(教男) 金木  
工藤 順(武明) 〃  
佐々木大輔(暁) 〃

## おしあわせに

今 桑田喜美雄(喜代治) 喜良市  
今 千代(哲男) 〃  
前田 憲吾(豊満) 神原  
山田 由子(石五郎) 金木  
原田 豊(勘之助) 中柏木  
兼平いさ子(喜一) 深浦町  
白川春左衛門(春右衛門) 蒔田  
小澤 久子(源三郎) 板柳町  
阿部 悟(正也) 山形県  
津田美津子(専太郎) 嘉瀬  
秋元 光義(定美) 嘉瀬  
上見のり子(平内) 五所市

## 日頃の会話の積み重ねが効果を持つ

すなどして、相談に乗ってやりましょう。その際、親にしてみれば子供の悩みがどんなにささいなことと思えても、大人にとっては深刻な問題なの

かねません。また、注意や助言を効果的にするためには、言うタイミングと言ひ方にも気をつけたいものです。子供があることをしよう

としているとき、半ば口癖のように「早くやりなさい」などと言うお母さんもおられるようですが、別に急がなくてよい場合などは、子供のすることをじっと見守ることも大切でしょう。一方、同じことを告げるにもさまざま言い方があります。感情的になって逆効果を招かないように……命令や禁止の言葉が効果をjつには、日ごころからの会話の積み重ねが大切で、できる限り子供と話す機会を持ちましょう。

## おくやみ

若山 良孝(正則) 蟹田町  
近藤江美子(邦美) 喜良市  
木立 卓也(久雄) 喜良市  
笠井とき子(照夫) 五所市  
一戸ナツエ(51) 金木  
岩泉市太郎(76) 喜良市  
工藤 唯勝(66) 〃  
今 金治(71) 嘉瀬  
中西清三郎(57) 金木  
白川金次郎(59) 喜良市  
角田 兼八(77) 金木

## 金木だより縮刷版 予約募集中

- 収録範囲 昭和27年から昭和57年12月
- 金額 3,000円
- 申し込み 企画室まで TEL3-2111内線40

# 母子保健強調月間

## 10月1日～31日

### 妊娠 育児はもう 始まっている

育児というと、赤ちゃんが生まれてからのことと思われがち。ミルクを飲ませたり、おしめを替えたり、

でも赤ちゃんが自分で何もできないのは、おなかに

いるときも同じです。栄養の摂取や排せつは、おなかの赤ちゃんに代わって妊娠中のお母さんが一手に引き

受けているのです。

おなかにいる赤ちゃんには、お母さんの健康状態がそのまま影響することがあります。妊娠したら病気に

う液体に浮かんでいきます。浮かんでいるといってもクラグのように浮遊しているのではなく、赤ちゃんのおへそから延びる臍帯という管と胎盤で、お母さんの体と結びついています。この管と胎盤を通じて、酸素や栄養の補給が行われます。

### 母子を結ぶ

### 臍帯と胎盤

赤ちゃんはお母さんのおなかにいる時期、羊水とい

また同時に、赤ちゃんの活動で生じた炭酸ガスや老廃物が、この管と胎盤を通じてお母さんの体に運ばれます。臍帯と胎盤はお母さ

### お母さんは 働きすぎ



んと赤ちゃんを結ぶパイプなのです。

お母さんの尿と一緒に出されます。ですから、妊娠中のお母さんには、赤ちゃんの分の酸素と栄養が必要だけでなく、排せつも二人分。これは普通の状態から考えれば完全にオーバーワークです。

臍帯を通じて赤ちゃんの体から運ばれた炭酸ガスは、お母さんのと一緒に肺から、また、老廃物のほうは肺蔵で解毒されたリジン臓から

また。妊娠中は、とかくイライラしてストレスがたまりがちです。お母さんがイライラしているとおなかの赤ちゃんにも良くありません。軽い作業や買物物は、かえってよい運動になります。適度な運動と入浴などで気分転換を図り、神経も休めてください。

### 乳幼児の健康診査



乳幼児の健康診査を次の日程で行います。該当する乳幼児には、必ず受診させるようにして下さい。

#### 3ヵ月児健康診査

- 受付日時  
10月21日(木)  
午後1時～1時30分
- 場所  
公立金木病院 小児科
- 対象  
昭和57年7月生まれ

#### 1歳6ヵ月児健康診査

- 受付日時  
10月21日(木)  
午後12時40分～1時
- 場所  
公立金木病院 小児科
- 対象  
昭和56年4月生まれ

### あなたの善意 マンガ本200冊

子供たちに読ませて下さいと朝日町の秋元洋子さんが役場町民ホールに設置されている「あさひ文庫」にマンガ本200冊を寄贈しました。みなさんのご利用をお待ちしています。借りたい方は相談案内係までどうぞ。

### 児童生徒の明るい選挙啓発標語集 ②

きれいな町は	きれいな選挙で	喜良市小6年	今	俊	二
よくみよう	いろんな人がまざってる	金木小4年	塚	本	博隆
きれいな心	きれいな一票	川倉小6年	外	崎	恵実子
町のため	人のために明るい選挙	金木中1年	竹	内	信夫